

株式会社 Sassor、「特定卸供給事業者」の登録を完了
～DR・VPP リソースを活用し、「調整力」の卸電力取引を本格開始～

■概要

株式会社 Sassor（本社：東京都渋谷区、代表取締役：石橋 秀一、以下「当社」）は、「特定卸供給事業者」としての届出が 2025 年 7 月 1 日付で資源エネルギー庁に正式に受理されたことをお知らせします。

これにより当社は、蓄電池など分散型エネルギーリソース（DER）を束ねた仮想発電所（VPP）を通じて創出した調整力を、需給調整市場などへ安定的に供給する体制を確立しました。

■参入の背景

再生可能エネルギーの導入が加速する一方、その出力変動を吸収する「調整力」を安定的に確保することが国のエネルギー政策における重要課題となっています。この状況を受け、自社の発電所を持たずに DR や VPP 等のリソースから電力を調達・供給できる「特定卸供給事業」制度が 2022 年 4 月に創設されました。

当社は、AI による需要予測と最適制御アルゴリズムを搭載したアグリゲーションプラットフォーム「ENES」の開発・運用を通じて、調整力の創出と市場価値を最大化するノウハウを蓄積しており、この度の事業参入に至りました。

■当社事業モデルの特長と提供価値

当社の AI アグリゲーション技術を核として、電力システムに関わる各ステークホルダーに以下の価値を提供します。

ステークホルダー	提供する価値
再エネ発電事業者	・ 発電予測・JEPX 価格予測・蓄電池制御を組み合わせ、売電収益を最大化 ・ 再エネ併設蓄電池の最適容量の算出
小売電気事業者	・ DR によって創出された調整力を活用し、インバランスリスクを低減 ・ アグリゲーターとして調整力を提供し、容量拋出金を削減
需要家（工場・ビル等）	・ 需給調整市場・容量市場への参加によるインセンティブで電気料金を削減 ・ BCP 対策としての蓄電池活用が可能 ・ ピークカットによる契約電力削減

系統用蓄電池事業者

- ・ 複数市場（卸電力市場・需給調整市場等）を横断した収益機会の最大化
- ・ 蓄電池の劣化を考慮した運用によるライフサイクル価値の向上

社会全体

- ・ 電力系統の安定化と脱炭素社会の実現を両立
- ・ 分散型電源の高度利用によるエネルギーインフラの強靱化

■今後の展望

当社は、蓄電池に留まらず、次世代のエネルギーリソースの制御技術開発にも注力してまいります。具体的には、EV（電気自動車）充電インフラを VPP リソースとして活用する V2G（Vehicle-to-Grid）技術や、グリーン水素の生産設備と連動した需給調整など、新たな脱炭素技術との連携を深めます。これにより、未来のエネルギー社会における中心的な役割を担うことを目指します。

■株式会社 Sassor について

Sassor は、AI によるエネルギーリソースの最適制御技術を核に、アグリゲーションプラットフォーム「ENES」の開発・提供を行っています。「ENES」は、蓄電池等の分散型エネルギーリソース（DER）を最適に制御することで、卸電力市場や需給調整市場における収益創出から、需要家様の電気料金削減（ピークカット）さらには事業継続計画（BCP）まで、多様な価値を創出します。また、電力情報サイト「グリッド研究所」を通じて、電力系統情報などのデータ提供も行っています。今後も、蓄電池を活用した収益性向上や再生可能エネルギーの普及を支援する技術提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【Sassor 会社概要】

会社名	： 株式会社 Sassor (サッソー)
代表取締役	： 石橋 秀一（いしばし しゅういち）
設 立	： 2010 年 9 月 30 日
所在地	： 東京都渋谷区桜丘町 4-17
URL	： https://www.sassor.com
事業内容	： AI を活用した電力アグリゲーションサービスの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 Sassor (サッソー)

担当：矢嶋

お問合せ先（E-mail）： sales@sassor.com